

一般社団法人日本母性看護学会

2025 年度 社員総会 資料

<報告事項>

- 報告事項 1 2024 年度事業報告
- 報告事項 2 2025 年度事業計画
- 報告事項 3 2025 年度予算
- 報告事項 4 第 29 回学術集会会長について

<決議事項>

- 第 1 号議案 2024 年度収支決算・監査報告
- 第 2 号議案 2025-2026 年度役員の承認

報告事項 1 2024 年度事業報告

1. 総務委員会／総務

- 1) 日本母性看護学会総会の開催
 - ・2024 年度一般社団法人日本母性看護学会総会を非召集型の「書面表決による総会」とし、2024 年 6 月 28 日(金)に開催した。
- 2) 理事会の開催
 - ・通常理事会 4 回(Zoom)、書面理事会を 5 回開催した。
- 3) 会員管理
 - ・会員数は 2025 年 3 月末で、687 名、2024 年度入会者 58 名、退会者 106 名だった。
- 4) 学会に関連する事務業務
 - ・看護系学会等社会保険連合、日本看護系学会協議会等、関連団体への対応を行った。また 2024 年 7 月に学術会議協力学会としての指定を受け、諸対応を行った。
- 5) 評議員意見交換会の開催
 - ・2024 年 6 月 22 日(土)に開催し、本学会の諸課題(1. 将来構想部会プロジェクト研究「産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探究」、2. 将来構想部会プロジェクト研究「APN (高度実践看護師) の役割・活用・育成に関する提言」、3. 日本母性看護学会におけるセミナー)および社員総会議案に関する報告・説明、質疑応答を行った。
- 6) 2025 年度事業計画(案)作成

2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理 入金・支出管理
 - ・事務局より会費入金状況の確認・徴収の報告を受けた。
 - ・支出について、振込依頼を承認し適正な支出であることを確認した。
- 2) 2024 年度決算
 - ・事務局に委託し、法人に必要な会計書類を作成し、決算書を作成した。
 - ・決算書については税理士、および監事の監査を受けた。
- 3) 2025 年度予算案の作成
 - ・各分掌理事の計画を取りまとめ、予算案を作成した。
- 4) 年会費の検討
 - ・2024 年度も赤字予算であったため、会費についての検討もされたが、繰越金がかなりあることから、大型研究助成などで繰越金が減少するとみられる数年以内には再度検討が必要だが、今は経過を見るということとした。
 - ・2025 年度予算も大幅な赤字予算ではあるので、今後も決算状況を見守り、年会費に

についても検討する。

5) 経費運用の検討

- ・2023年度より検討されていた経費運用の一つとして、学術集会補助費増額や、オンラインシステムの充実、編集委員会の外部校正費用の増額および、大型研究助成金の運用が開始された。

6) 2025年度事業計画（案）作成

3. 総務委員会／災害対応部会

- ・一般社団法人日本母性看護学会大規模災害支援者支援事業は2024年は実績がなかった。
- ・日本母性看護学会大規模災害支援者支援事業についての応募要項、申請書をHPから常時ダウンロードできるようにした。

4. 総務委員会／将来構想部会

1) 「地域における高度実践看護プロジェクト」活動の実施

- ・「産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探究」の研究成果の一部を、第26回日本母性看護学会学術集会の会長講演ならびに理事会企画「日本母性看護学会が目指すもの～高度な看護実践の実現に向けて～」において提示した。
- ・研究の成果を2論文にして日本母性看護学会誌に投稿し、研究報告として受理された。
- ・研究成果から得られた高度看護実践を活用可能とするコンパクト版を作成した。論文公表後、学会ホームページに掲載する予定である。

2) 「母性看護APN将来像検討プロジェクト」活動の実施

- ・①有識者8名へのヒアリング調査（5月）、②評議員意見交換会での発表と意見募集（6月）、③第26回日本母性看護学会学術集会理事会企画での発表と意見募集（6月）、④理事・監事への意見聴取（10月～11月、2025年3月～4月）と理事会審議を経て、母性看護APN（高度実践看護師）将来像検討プロジェクト報告書～「母性看護領域における高度実践看護師の役割・活用に関する検討（案）」を作成した。
- ・報告書は、学会ホームページへの掲載や看護関連団体・看護系大学等への送付により周知する予定である。これらの広報活動は、APN委員会に引き継ぐ。

3) 2025年度事業計画（案）作成

5. 編集委員会

1) 機関誌の編集・発刊

- ・日本母性看護学会誌第25巻1号を2024年10月に、第25巻2号を2025年3月に発刊した。

- ・定期配信メールを通して会員へ機関誌発行を周知した。
- 2) 編集委員会の開催
 - ・編集委員会を Zoom にて概ね月 1 回定期開催した。
 - 3) 2025-2026 年度専任査読委員の更新を行った。
 - 4) 2025 年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

- 1) ホームページの充実発信する情報の充実
 - ・ホームページの内容を検討
 - ・ホームページの更新（事務局依頼）15 日と末日の 2 回/月
- 2) ニュースレターによる情報の発信
 - ・ニュースレター 25 号の企画・編集・発行
- 3) 全会員へ広報委員会が取りまとめた記事の定期配信
 - ・年間 6 回の日本学術会議他有益情報の配信(4.6.8.10.12.2 月)
- 4) 第 26 回日本母性看護学会学術集会における広報
 - 定期配信メール内に掲載
- 5) 2025 年度事業計画（案）作成

7. 研究促進委員会

- 1) 研究助成に関する情報提供
 - ・ホームページを通して、会員が申請できる助成金等の情報を更新のための確認を行った。
- 2) 日本母性看護学会研究助成
 - ・2025 年度研究助成の応募要領の作成ならびに公募を実施した。
 - ・本制度を会員に周知するため、応募要領を会員に配布するとともに、ホームページに公募の案内を掲載した。
 - ・2025 年度研究助成に対して 3 件の応募があり、選考委員会を発足して選考し、1 件を採択した。1 件は選考途中で辞退となった。
 - ・2023 年度研究助成会計監査
- 3) 令和 7 (2025) 年度課題指定型研究助成を創設した。研究課題は「男性の育児支援に資する研究」
 - ・会員一斉メール、ホームページで制度の広報を行った。
 - ・公募を延長し 1 件の応募があった。
- 4) 研究助成選考委員会における利害関係者に関する申し合わせの検討を行った。
- 5) 2025 年度事業計画（案）作成

8. 学術支援委員会

- 1) 学術集会の企画・運営支援
 - ・第 26 回および第 27 回の学術集会の企画・運営支援を行った。
- 2) セミナーの企画・運営
 - ・第 18 回日本母性看護学会学術支援セミナー「スコーピングレビューを実践レベルで学ぼう」を Zoom により開催した。参加申込 68 名（会員名 58 名、非会員 10 名）、当日参加は会員 28 名、非会員 5 名、合計 33 名であった。オンデマンド視聴者は延べ 51 回だった（2025 年 1 月 3 日まで学会ホームページで会員及び申込があった非会員は視聴可能）。

日時：2024 年 11 月 30 日（土）13：00～15：00
講師：山路 野百合氏（昭和大学臨床疫学研究所 講師）
・アンケート回答者は 23 名で、回答者の 91.3% が今後の教育・研究・実践に「とても役立ちそう」「役立ちそう」と回答した。
- 3) 学術論文賞の選考
 - (1) 第 18 回学術論文賞の選考
 - ・理事による推薦、選考委員会による審査を経て、第 18 回学術論文賞を 1 論文選考した。
学術論文賞受賞論文：初産婦の食事量、食事の質および食事環境に関する食行動実践プログラム作成（河合桂子氏）
 - ・第 26 回学術集会の理事会企画プログラムにおいて、表彰式を行い、表彰状と記念品を渡した。受賞者からのコメントをホームページで掲載した。
 - (2) 第 19 回学術論文賞の選考に向けた準備
 - ・理事・評議員に、第 19 回学術論文賞の候補論文からの推薦を依頼した。
- 4) 2025 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会

- 1) CTG セミナー実施
 - 開催日 2024 年 7 月 6 日～7 日
 - 開催場所 群馬大学（対面研修）
 - 参加者 55 名（助産師 41 名、看護師 2 名、大学教員 6 名、医師 4 名、学生 4 名）
アドバンス助産師申請 24 名
本学会会員 12 名 非会員 43 名
 - 証明書：参加修了証、CLOCK MIP 認定証 24 名に授与した。
- 2) GDM セミナー実施
 - 開催日 2024 年 12 月 2 日（月）～2025 年 3 月 31 日：オンデマンド研修
2025 年 2 月 15 日（土）10 時～11 時 30 分：オンライングループディスカ

ツション

参加者 26名（助産師23名、教員2名、看護師1名）：オンデマンド研修
本学会会員8名、非会員18名

証明書：参加修了証、CLOCK MIP 認定証21名に授与した。

3) WHC セミナー実施

開催日 2025年2月1日（土）10時～13時

開催方法 オンライン研修

オンデマンド配信 令和7年2月10日(月)～28日(金)

テーマ 「乳がん治療がその後の妊娠・出産に与える影響」

「乳がんがわかった女性に対するがん看護 CNS の Women's Health の視点を踏まえた看護実践」

「乳がんと周産期にある女性の看護」

講演後にファシリテーターとディスカッションを実施した。

4) 各セミナー担当者会議をオンラインで実施した。

5) 2025年度事業計画（案）作成

10. 看護政策検討委員会

1. 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動

1) 総会、看護技術検討委員会、あり方検討委員会への看保連委員として出席した。

2) 情報交換会への看保連委員として出席した。

2. 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動

1) R8（2026）年度診療報酬改定に向け「ハイリスク妊産婦の産褥回復不全に対する産後の訪問看護支援に関する要望」に関する情報収集と意見交換を行った。

看保連診療報酬あり方検討委員会で要望書の発表と意見交換を行い、計3回の要望書の修正を行った。要望書の課題を絞ったデータの見直しが必要となり、現段階では、R8要望書完成までは難しいため、R8の要望書提出は取り下げ、R10（2028年）の要望書の提出に向けて引き続き情報収集や関連学会との意見交換を行う計画とした。

3. 上記活動に関する委員会を4回開催した。

11. 高度実践看護推進委員会

1. 母性看護 CNS の役割認知の拡大に関する以下の活動を行った。

1) 学会HPにおける母性看護 CNS ページの充実

「母性看護専門看護師の教育課程」の修正

2) 学会HPに母性看護 CNS 調査（2021年度）結果の概要を掲載

「コロナ禍における母性看護専門看護師の活動」として掲載

- 3) 母性看護 CNS PR 動画の作成
2. 母性看護 CNS の活動推進に関する以下の活動を行った。
 - 1) 交流/情報交換/ネットワーク構築
 - (1) TSUMUGU 会の開催（9月・1月）
 - (2) 母性看護 CNS ネットワークづくりに関する調査
 - 2) 学会活動における CNS の役割推進
 - (1) 学会主催セミナー等への母性看護 CNS の協力支援
学会主催セミナーや第 8 回・第 9 回の TSUMUGU 会において、母性看護 CNS にファシリテーターとして協力を依頼した。
3. 関係団体との協働・情報交換
 - 1) 日本看護系学会協議会 APN 制度推進委員会主催 連続シンポジウム「日本の未来の高度実践看護について意見を共有しよう」への出席（2025 年 2 月 16 日、3 月 16 日）
4. 母性看護 APN 将来像検討プロジェクト報告書の作成
5. 2025 年度事業計画案/予算案を作成した。

報告事項 2 2025 年度事業計画

1. 総務委員会／総務

- 1) 2025 年度一般社団法人日本母性看護学会総会の開催
- 2) 理事会の開催 通常理事会 4 回
　　書面理事会 適宜開催
- 3) 会員管理・会員サービス・学会案内（外部委託）
- 4) 学会に関連する事務業務
　　委託業者との調整、学会に関連する書類への対応、他団体への対応
- 5) 定款、規程、細則等の整備
- 6) 2026 年度事業計画（案）作成

2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理 入金・支出管理
- 2) 2025 年度決算
- 3) 2026 年度予算案の作成
- 4) 年会費の検討
- 5) 経費運用の検討
- 6) 2026 年度事業計画（案）作成

3. 総務委員会／災害対応部会

- 1) JANA 災害看護学会連携強化をはかる。
- 2) JANA の災害関連情報を会員に提供する
- 3) 2026 年度事業計画（案）作成

4. 総務委員会／将来構想部会

- 1) 地域における高度実践看護プロジェクト活動
　　「産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探究」の研究成果の公表
　　・学会ホームページ上に報告書を掲載する。
　　・提示した高度看護実践を臨床で活用可能となるようコンパクト版を作成し、学会ホームページ上に掲載する。
- 2) 母性看護 APN 将来像検討プロジェクト活動（2025 年 4 月～6 月）
　　「母性看護 A P N （高度実践看護）将来像検討プロジェクト報告書」の公表
　　・学会ホームページ上に報告書を掲載する。
　　・看護関連団体、看護系大学等に報告書を送付する。

(了承が得られた場合、報告書の周知・広報活動を APN 委員会に引き継ぐ)。

5. 編集委員会

- 1) 日本母性看護学会誌の編集・発刊（年2回）
第26巻第1号2号発刊（2025年9月、2026年3月発刊予定）
- 2) 編集委員会：月1回オンライン開催
- 3) 2026年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

- 1) ホームページの充実、発信する情報の充実
- 2) ニュースレターによる情報の発信
ニュースレター26号の企画・編集・発行
- 3) 会員向け定期メールの配信(4.6.8.10.12.2月)
- 4) 第27・28回日本母性看護学会学術集会における広報
- 5) 2026年度事業計画（案）作成

7. 研究促進委員会

- 1) 研究助成に関する情報提供
年2回、学会ホームページを通じて会員が申請できる助成金などの情報の更新
- 2) 日本母性看護学会研究助成
 - (1) 2024年度研究助成会計監査
 - (2) 2025年度研究助成研究の選考
 - (3) 2026年度研究助成の応募要領の作成・公募の実施
 - (4) 研究支援活動（研修会・ワークショップなど）
 - (5) 制度について会員への広報
(応募要領の会員への送付及びホームページへの掲載)
- 3) 日本母性看護学会課題指定型研究助成
 - (1) 2025年度課題指定型研究助成研究の選考
 - (2) 2026年度課題指定型研究助成応募要領の作成・公募の実施
(応募要領の会員への送付及びホームページへの掲載)
 - (3) 制度についての会員への広報
- 4) 2026年度事業計画（案）作成

8. 学術支援委員会

- 1) 学術集会の企画・運営支援

第 27 回学術集会長：大月恵理子氏（順天堂大学医療看護学部）

第 28 回学術集会長：香取洋子氏（北里大学看護学部）

- 2) セミナーの企画・運営
　　第 19 回セミナーの開催
- 3) 第 19 回学術論文賞の選考
- 4) 2026 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会

- 1) CTG セミナーの開催（2025 年秋頃）
- 2) 糖代謝異常妊娠産褥婦を支援する看護セミナーの開催
　　（2026 年 1～2 月、オンデマンド開催）
- 3) WHC セミナーの開催（2026 年 2 月頃、オンライン開催・オンデマンド配信）
- 4) 各セミナー担当者会議 3 回（オンライン）
- 5) 2026 年度事業計画（案）作成

10. 看護政策検討委員会

1. 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動
 - 1) 総会、診療報酬あり方検討委員会への看保連委員としての出席
 - 2) 情報交換会への看保連委員としての出席
2. 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動
 - 1) R10（2028）年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集と関連学会等との意見交換
 - 2) 上記活動に関する委員会の開催（年 4 回、ZOOM）
3. 2026 年度事業計画（案）作成

11. 高度実践看護推進委員会

- 1) 母性看護 CNS 活動の推進
　　第 27 回日本母性看護学会学術集会における交流集会の開催
- 2) 母性看護 APN の将来像に関連した他団体との連携や情報発信
　　「母性看護 APN(高度実践看護) 将来像検討プロジェクト報告書」を活用した、
　　関係団体（JNA, JANA, JANPU, CNS 協議会）へのヒアリング調査
- 3) 2026 年度事業計画・予算（案）作成

12. 利益相反委員会

- 1) 利益相反申告書に疑義が生じた場合の調査および答申を行う。

報告事項3 2025年度予算

単位(円)

科 目	【参考】2024年度予算	【参考】2024年度決算	2025年度予算
収入の部			
会費収入	6,304,000	5,584,000	5,376,000
当年度会費	5,784,000	5,280,000	5,120,000
過年度会費	360,000	192,000	136,000
入会金	160,000	112,000	120,000
事業収入	8,750,000	11,943,332	10,172,800
学術集会収入	7,620,000	10,855,332	9,300,800
CTGセミナー	780,000	616,000	500,000
GDMセミナー	225,000	330,000	300,000
WHCセミナー	35,000	57,000	42,000
学術支援セミナー	30,000	33,000	30,000
TSUMUGU会	60,000	52,000	0
雑収入	4,500	213,540	4,500
受取利息	500	203	500
雑収入	0	195,371	0
抄録利用料	4,000	17,966	4,000
受取寄付金	0	72,835	0
収入の部 合計(1)	15,058,500	17,813,707	15,553,300
前年度繰越金(2)	42,839,824	42,839,824	44,723,863
合 計(1)+(2)=(3)	57,898,324	60,653,531	60,277,163

科 目	【参考】2024年度予算	【参考】2024年度決算	2025年度予算
支出の部			
事業費支出			
編集委員会	1,155,449	785,639	1,133,847
広報委員会	195,000	154,733	195,000
研究促進委員会	670,300	312,204	1,443,000
学術支援委員会	290,000	238,242	302,000
生涯学習支援委員会	1,044,500	1,051,137	738,000
[CTGセミナー]	780,000	801,123	500,000
[GDMセミナー]	229,500	196,117	198,000
[WHCセミナー]	35,000	53,897	40,000
看護政策検討委員会	110,400	2,200	126,240
高度実践看護推進委員会	177,400	146,109	60,000
総務委員会	320,000	0	370,000
[災害対応部会]	290,000	0	290,000
[将来構想部会]	30,000	0	80,000
利益相反委員会	25,000	24,750	25,000
学術集会	8,582,100	9,594,471	10,078,041
事業費支出 合計	12,570,149	12,309,485	14,471,128
管理費支出			
総務・渉外・会計	4,535,000	3,620,183	4,482,800
管理費支出 合計	4,535,000	3,620,183	4,482,800
周年記念事業積み立て	150,000	(決算科目としては不使用)	150,000
予備費	500,000	(決算科目としては不使用)	500,000
支出の部 合計(4)	17,755,149	15,929,668	19,603,928
当期收支差額(1)−(4)=(5)	-2,696,649	1,884,039	-4,050,628
次期繰越差額(3)−(4)=(6)	40,143,175	44,723,863	40,673,235

報告事項 4 第 29 回学術集会会長について

第 29 回学術集会会長は以下のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

長坂桂子氏（京都橘大学）

第1号議案 2024年度収支決算・監査報告

貸借対照表

2025年3月31日現在

単位(円)

科 目	金 額	備 考
1 資産の部		
流動資産		
(現金・預金)		
当座預金	44,375,742	
郵便振替（法人口座）	44,375,742	
普通預金	897,915	
ゆうちょ銀行（会計）	897,915	
現金・預金 計	45,273,657	
(その他流動資産)		
前払金	1,000,000	学術集会準備金
仮払金	300,000	2024年度研究助成辞退1名 返金予定
その他流動資産 計	1,300,000	
流動資産 合計	46,573,657	
固定資産		
(特定資産)		
周年記念事業積立金	900,000	郵便振替口座にて管理
固定資産 合計	900,000	
資産の部 合計	47,473,657	
2 負債の部		
流動負債		
未払金	537,794	委託費期末精算・学会誌25-2制作費・HPリニューアル費用・TSUMUGU会講師謝金
前受金	2,202,000	次年度以降前受年会費・入会金
仮受金	10,000	返金予定の入金
流動負債 合計	2,749,794	
負債の部 合計	2,749,794	
3 正味財産の部		
正味財産	44,723,863	
(うち、特定資産への充当額)	(900,000)	
(当期正味財産増減額)	(1,884,039)	
負債及び正味財産の部 合計	47,473,657	

2024年度正味財産増減計算書(予算対比)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

単位(円)

科 目	2024年度予算	2024年度決算	差額(予算-決算)	備考
1.経常収益				
会費収入	6,304,000	5,584,000	720,000	
当年度会費	5,784,000	5,280,000	504,000	納入率86%
過年度会費	360,000	192,000	168,000	前年度以前の会費回収分
入会金	160,000	112,000	48,000	56名分
事業収入	8,750,000	11,943,332	-3,193,332	
学術集会収入	7,620,000	10,855,332	-3,235,332	第26回学術集会
CTGセミナー	780,000	616,000	164,000	CTGセミナー参加費収入
GDMセミナー	225,000	330,000	-105,000	GDMセミナー参加費収入
WHCセミナー	35,000	57,000	-22,000	WHCセミナー参加費収入
学術支援セミナー	30,000	33,000	-3,000	第18回学術支援セミナー参加費収入
TSUMUGU会	60,000	52,000	8,000	第9・10回TSUMUGU会参加費収入
雑収入	4,500	213,540	-209,040	
受取利息	500	203	297	
雑収入	0	195,371	-195,371	2023年度研究助成金(残金返金1名、辞退1名)
抄録利用料	4,000	17,966	-13,966	メテオ、医学中央雑誌刊行会
受取寄付金	0	72,835	-72,835	看護系大学助産師教育研究会(1件)
経常収益計	15,058,500	17,813,707	-2,755,207	
2.経常費用				
事業費支出				
編集委員会	1,155,449	785,639	369,810	
広報委員会	195,000	154,733	40,267	
研究促進委員会	670,300	312,204	358,096	
学術支援委員会	290,000	238,242	51,758	
生涯学習支援委員会	1,044,500	1,051,137	-6,637	
[CTGセミナー]	780,000	801,123	-21,123	
[GDMセミナー]	229,500	196,117	33,383	
[WHCセミナー]	35,000	53,897	-18,897	
看護政策検討委員会	110,400	2,200	108,200	
高度実践看護推進委員会	177,400	146,109	31,291	
総務委員会	320,000	0	320,000	
[災害対応部会]	290,000	0	290,000	
[将来構想部会]	30,000	0	30,000	
利益相反委員会	25,000	24,750	250	
学術集会	8,582,100	9,594,471	-1,012,371	第26回学術集会
事業費支出 合計	12,570,149	12,309,485	260,664	
管理費支出				
総務・涉外・会計	4,535,000	3,620,183	914,817	
管理費支出 合計	4,535,000	3,620,183	914,817	
周年記念事業積み立て	150,000	(決算科目としては不使用)		
予備費	500,000	(決算科目としては不使用)		
経常費用計	17,755,149	15,929,668	1,825,481	
当期経常増減額	-2,696,649	1,884,039	-4,580,688	
当期正味財産増減額	-2,696,649	1,884,039	-4,580,688	
正味財産期首残高	42,839,824	42,839,824	0	
正味財産期末残高	40,143,175	44,723,863	-4,580,688	

監査報告書

一般社団法人 日本母性看護学会
理事長 石井 邦子 殿

2025年5月15日
一般社団法人 日本母性看護学会

監事 遠藤 俊子



監事 島袋 香子



当学会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査を行いましたので、以下の通りご報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事及び事務局等と意思疎通を図り、理事会その他の重要な会議に出席し、学会諸事業の情報の収集に努め、2025年5月15日、当学会事務局において会計帳簿及びこれに付随する資料について報告・説明を受けるとともに、内容の確認を行いました。

以上の方針によって、当該年度の決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査いたしました。

2. 監査の結果

2024年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3. 監査意見

今期も学術集会の活性化により収益が上がっています。学術団体としての社会貢献に尽力し、健全な学会運営が出来ております。しかしながら、会計執行状況は業務と連動するものであるため、計画性や運用に検討すべき点がみられます。また、期末残高が増加しており、一般社団法人としての責任が果たせるような事業の検討等をすすめ、引き続き会員サービスの利便向上、会員向け事業の拡充等により学術的な発信を期待いたします。

以上

第2号議案 2025-2026年度役員の承認

■理事（選挙選出）

氏名	所属先名
跡上 富美	熊本大学
岩田 裕子	医療創生大学
佐々木 くみ子	鹿児島国際大学
定方 美恵子	新潟薬科大学
鈴木 康江	鳥取大学
立岡 弓子	滋賀医科大学
常田 裕子	京都大学
中井 愛	滋賀医科大学医学部附属病院
長坂 桂子	京都橘大学
長谷川 ともみ	富山大学
服部 律子	神戸女子大学
森田 亜希子	順天堂大学
山田 加奈子	神奈川県立保健福祉大学

■理事（推薦）

氏名	所属先名
菊地 圭子	山形県立保健医療大学
佐々木 綾子	敦賀市立看護大学
鈴木 紀子	北里大学
能町 しのぶ	兵庫県立大学
八巻 和子	山梨県医療的ケア児支援センター

■監事

氏名	所属先名
高橋 真理	文京学院大学
森 恵美	千葉大学大学院

（五十音順）